

「コンピュータの舞台裏」

第2回

MS-DOS コマンドプロンプト資料

2015-12-19

By くーへん

<https://github.com/flhtc1964/Computer>

BAT(バッチ)ファイルのおさらい

- 「対話形式」でコマンドを入力し処理するルーチンワーク(定型業務)を事前にテキストファイルへ記述しておいて必要な時に実行させる処理方法
- テキストファイル形式の拡張子は「. BAT」
#小文字で「.bat」でも可能

【注意】 Windowsの拡張子が非表示だと
見た目はfoo.batだが
実際はfoo.bat.txtに注意！

MS-DOSなら → 「コマンドプロンプト」 【 Unixなら → 「sh(シェル)」 】

- 対話形式でコマンドを入力して処理する道具

「リダイレクト→ < 」 手入力せずファイルで入力
sort コマンドの利用

「リダイレクト→ > 」 新規ファイル作成

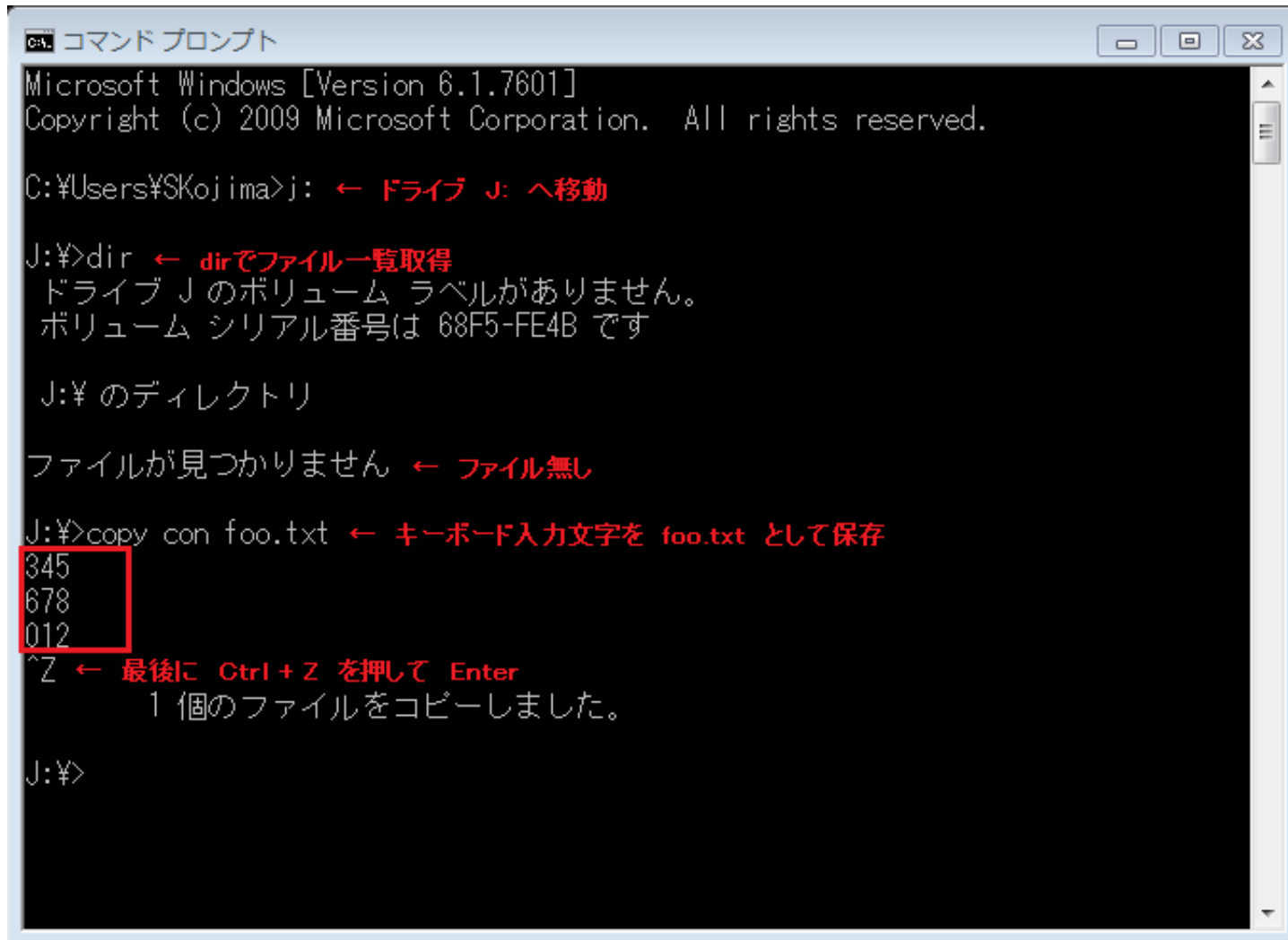
「リダイレクト→ > > 」 ファイルへ追加

「パイプ→ | 」 フィルター

また時間がある時に 各自でお試し下さい

- 次の頁からDOSプロンプトの使い方を説明します
- 実際に実行していくと時間が無いので説明後実際にパソコン内の指定フォルダを使いHTML形式の検索結果を作成&表示させます
- ブラウザーによって**フォルダのリンクを開くことが出来ない場合があります**ので、今回はIEを使ってデモをします

コマンドプロンプトでテキスト型 データファイルを作成してみる



```
C:\ コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Skojima>j: ← ドライブ J: へ移動

J:\>dir ← dirでファイル一覧取得
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:\ のディレクトリ

ファイルが見つかりません ← ファイル無し

J:\>copy con foo.txt ← キーボード入力文字を foo.txt として保存
345
678
012
^Z ← 最後に Ctrl + Z を押して Enter
1 個のファイルをコピーしました。

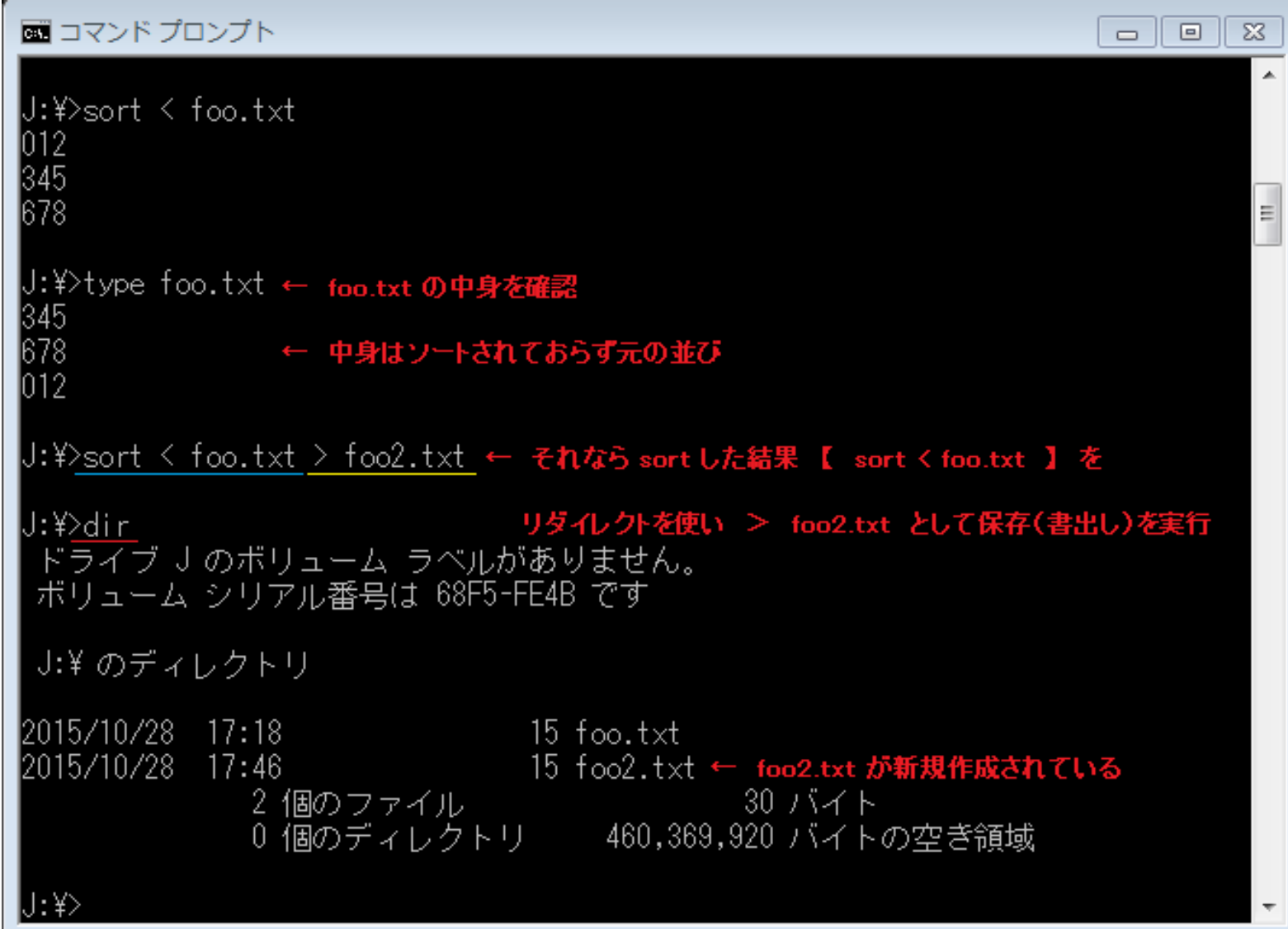
J:\>
```

「リダイレクト→ < 」 ファイルをプログラムに渡す sort コマンドの利用

```
012  
^Z  
1 個のファイルをコピーしました。 ← 1個のファイルが作成された  
J:¥>dir ← 再度 dir でファイル一覧取得  
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。  
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です  
  
J:¥ のディレクトリ  
  
2015/10/28  17:18                15 foo.txt ← foo.txt が作成されている  
                1 個のファイル                15 バイト  
                0 個のディレクトリ            460,369,920 バイトの空き領域  
  
J:¥>type foo.txt ← type で中身を確認  
345  
678  
012  
  
J:¥>sort < foo.txt ← sort に対して foo.txt の中身をリダイレクト(データを送り込む)  
012  
345 ← 順序が昇順になって【 表示 】された  
678  
J:¥>
```

sort < foo.txt > foo2.txt

「リダイレクト→ > 」ソート結果を新規ファイルとして保存



```

C:\> コマンド プロンプト

J:\> sort < foo.txt
012
345
678

J:\> type foo.txt ← foo.txt の中身を確認
345
678
012
← 中身はソートされておらず元の並び

J:\> sort < foo.txt > foo2.txt ← それなら sort した結果 【 sort < foo.txt 】 を
リダイレクトを使い > foo2.txt として保存(書出し)を実行

J:\> dir
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:\> のディレクトリ

2015/10/28 17:18          15 foo.txt
2015/10/28 17:46          15 foo2.txt ← foo2.txt が新規作成されている
                2 個のファイル                30 バイト
                0 個のディレクトリ          460,369,920 バイトの空き領域

J:\>
```

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28 17:18 15 foo.txt

2015/10/28 17:46 15 foo2.txt

2 個のファイル 30 バイト

0 個のディレクトリ 460,369,920 バイトの空き領域

J:¥>type foo*.txt ← type でワイルドカードを使い

foo.txt foo*.txt

を指定 foo.txt と foo2.txt が表示された

345

678

012

foo2.txt

012 ← foo2.txt はソート後のデータが保存されている

345

678

J:¥>

foo2.txt

012

345

678

J:¥>copy foo*.txt foo3.txt ← コピーしろ

foo.txt

foo*.txt にマッチするファイルをまとめた後

foo2.txt

foo3.txt として作成

1 個のファイルをコピーしました。

J:¥>dir

ドライブ J のボリューム ラベルがありません。

ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28 18:08

15 foo.txt

2015/10/28 17:46

15 foo2.txt

2015/10/28 18:08

31 foo3.txt ← foo3.txt が作成された

3 個のファイル

61 バイト

0 個のディレクトリ

460,369,920 バイトの空き領域

J:¥>type foo3.txt ← foo3.txt の中身を確認

345
678
012
012
345
678

J:¥>copy foo2.txt + foo.txt foo4.txt ← 結合するファイルの順番を + で指定する
foo2.txt
foo.txt

1 個のファイルをコピーしました。

J:¥>dir

ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28	18:08	15	foo.txt	
2015/10/28	17:46	15	foo2.txt	
2015/10/28	18:08	31	foo3.txt	
2015/10/28	18:14	31	foo4.txt	← foo4.txt が作成された
		4 個のファイル	92 バイト	
		0 個のディレクトリ	460,369,920 バイトの空き領域	

foo.txt

1 個のファイルをコピーしました。

J:¥>dir

ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28	18:08	15	foo.txt
2015/10/28	17:46	15	foo2.txt
2015/10/28	18:08	31	foo3.txt
2015/10/28	18:14	31	foo4.txt

4 個のファイル 92 バイト
0 個のディレクトリ 460,369,920 バイトの空き領域

J:¥>type foo4.txt ← foo4.txt の中身を確認

012
345 ← ソートされている foo2.txt が先頭になっている
678

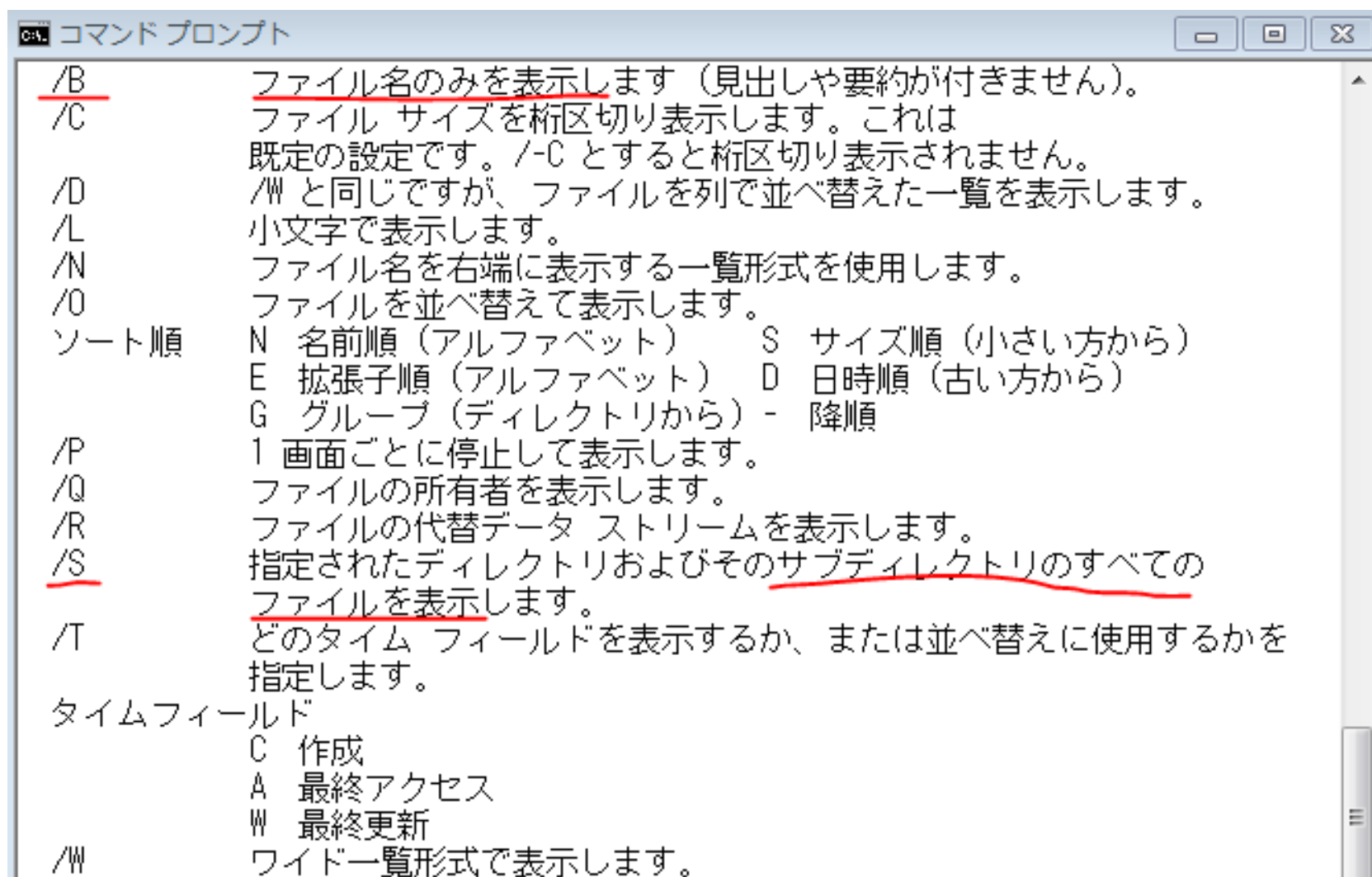
345

678

012

J:¥>

dir /? コマンドヘルプを表示

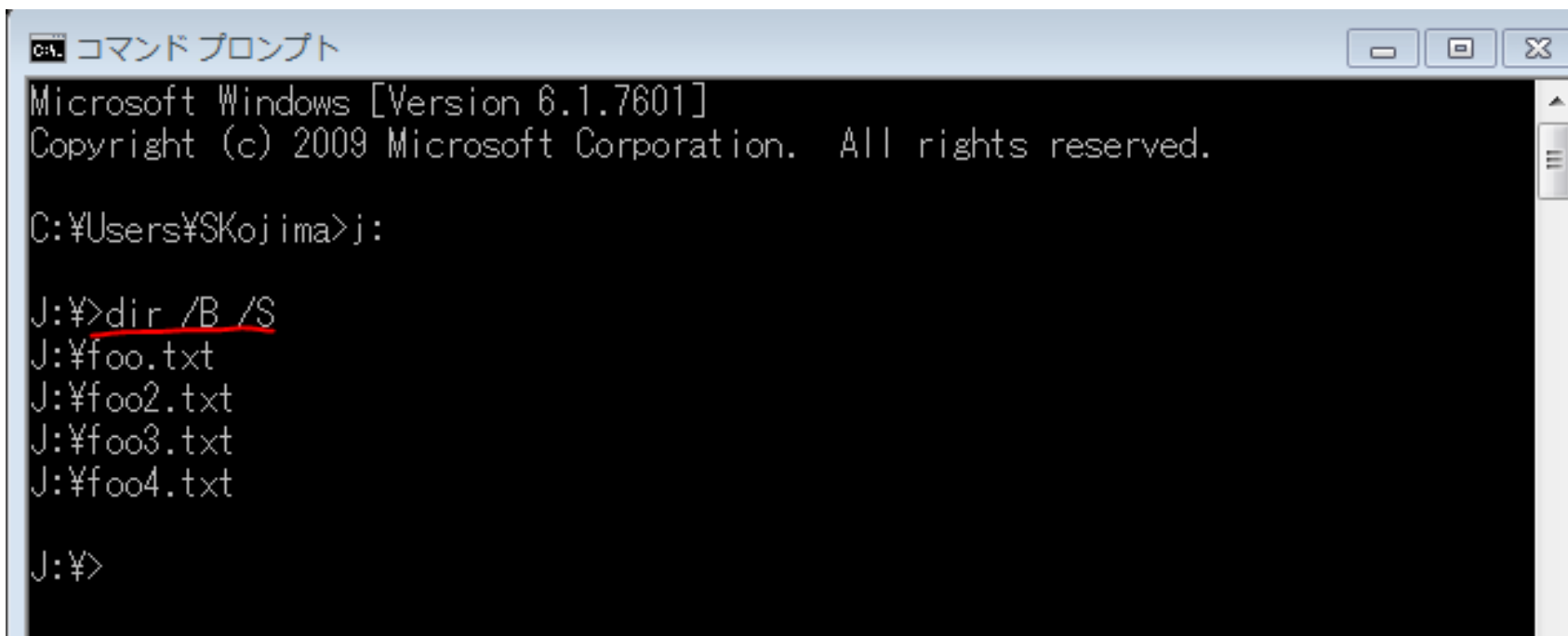


```
コマンド プロンプト

/B      ファイル名のみを表示します (見出しや要約が付きません)。
/C      ファイル サイズを桁区切り表示します。これは既定の設定です。 /-C とすると桁区切り表示されません。
/D      /W と同じですが、ファイルを列で並べ替えた一覧を表示します。
/L      小文字で表示します。
/N      ファイル名を右端に表示する一覧形式を使用します。
/O      ファイルを並べ替えて表示します。
ソート順  N 名前順 (アルファベット)      S サイズ順 (小さい方から)
          E 拡張子順 (アルファベット)    D 日時順 (古い方から)
          G グループ (ディレクトリから) - 降順

/P      1 画面ごとに停止して表示します。
/Q      ファイルの所有者を表示します。
/R      ファイルの代替データ ストリームを表示します。
/S      指定されたディレクトリおよびそのサブディレクトリのすべての
        ファイルを表示します。
/T      どのタイム フィールドを表示するか、または並べ替えに使用するかを
        指定します。
タイムフィールド
          C 作成
          A 最終アクセス
          W 最終更新
/W      ワイド一覧形式で表示します。
```

dir /B /S コマンドでファイル一覧



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

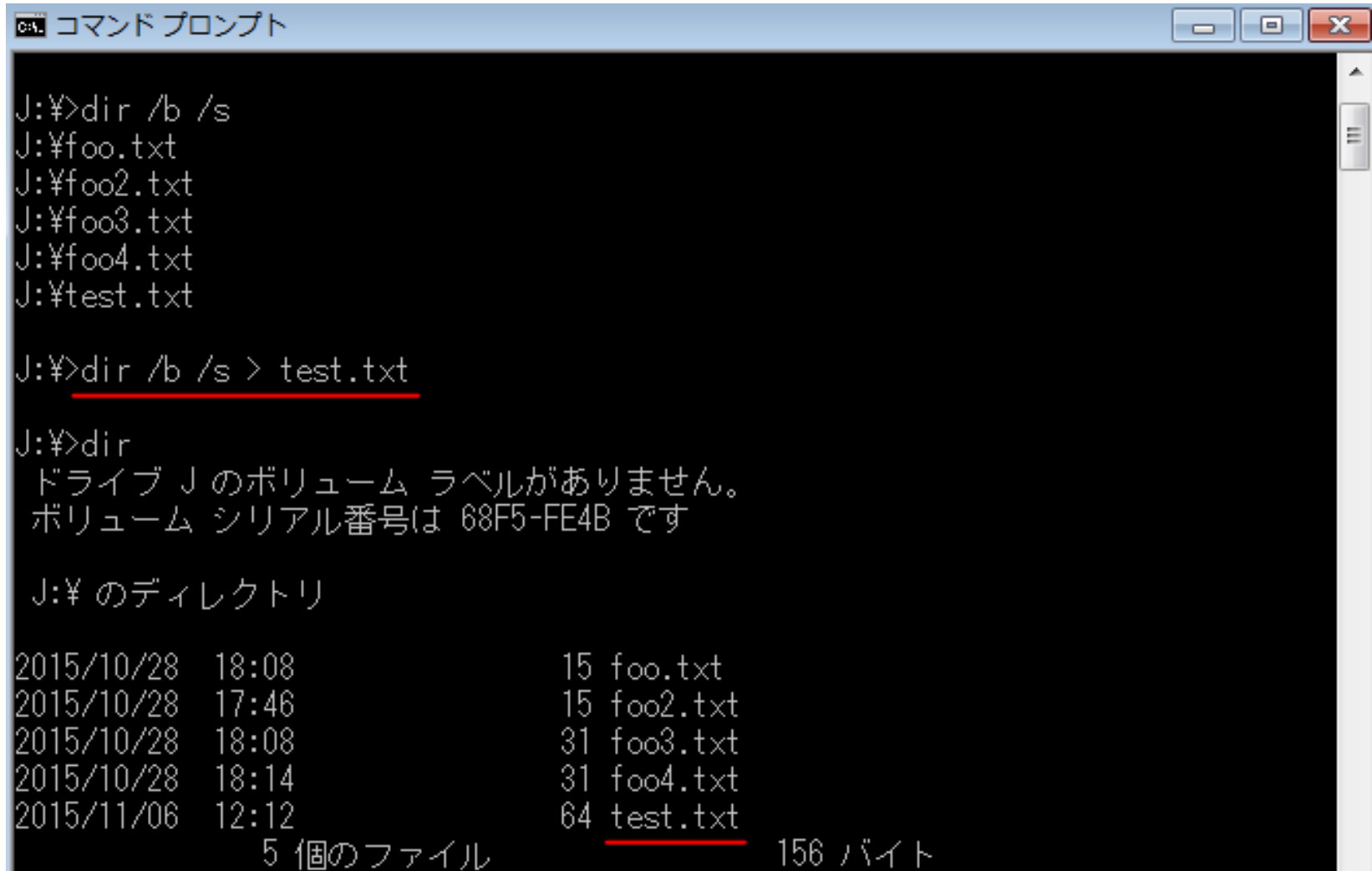
C:\Users\S\Kojima>j:

J:>dir /B /S
J:\foo.txt
J:\foo2.txt
J:\foo3.txt
J:\foo4.txt

J:>
```

「リダイレクト→ > 」

dir /b /s > test.txt ファイル新規作成



```
C:\> コマンドプロンプト

J:\>dir /b /s
J:\foo.txt
J:\foo2.txt
J:\foo3.txt
J:\foo4.txt
J:\test.txt

J:\>dir /b /s > test.txt

J:\>dir
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:\>のディレクトリ

2015/10/28  18:08                15 foo.txt
2015/10/28  17:46                15 foo2.txt
2015/10/28  18:08                31 foo3.txt
2015/10/28  18:14                31 foo4.txt
2015/11/06  12:12                64 test.txt

                    5 個のファイル                156 バイト
```

以 上